

学校評価アンケート（保護者用）のご意見に対する回答

鳥取工業高等学校

保護者の皆様

学校評価保護者アンケートに回答いただきありがとうございます。今後の本校教育に活用させていただきます。

さて、アンケートの中で保護者の皆様に多くのご意見をいただきました。このことにつきまして、下記のように回答します。

1 アンケートを実施する目的は何ですか。

職員一同が教育の質の向上を念頭に日頃の教育活動に取り組んでおりますが、我々の気づかない点等についてアンケートを参考に取組の改善を図るよう努めているところです。趣旨をご理解いただき、お気づきのことがございましたら具体的にお知らせいただけますと幸いです。

2 食堂を再開してください。

食堂については、運営業者が確定し、平成30年度からの再開に向けて準備中です。

3 工業高校ですから資格を取らせてください。

工業高校生として資格取得の重要性は常日頃から生徒へ伝え、資格取得を奨励しています。資格取得に取り組んだ生徒は、合格はもちろんのこと、不合格でもその取組への意欲を企業から評価されています。

専門教育部から資格検定一覧を各教室に配布するとともに、各教室のパソコンからリンクを設定して各種資格検定の主催団体のサイトを閲覧できるようにしています。

受験については、資格検定の種類によっては学校で補習を行うものもありますが、各自で学習し、わからないところを教員に質問しながら取り組むものもあります。

ご家庭でもお子様と将来の生き方についてお話いただき、そのために必要となる資格検定の取得を目標に定めて取り組んでいただきますようよろしくお願いいたします。

4 教室内が騒がしく、迷惑に感じている生徒もいるようです。子供たちが安心して通える学校であることを願います。

保護者の皆様にはご心配をおかけして申し訳ありません。私語の多い場面では、教科担任が指導をしています。この他に集中力が続きにくかったり、場面転換等での促しを必要とする場面や、授業に落ち着いて取り組みにくい状況が生まれることもあり、教科担任以外にも職員が机間巡視を行って、落ち着かない生徒を諭して授業に集中させるなどの支援もしております。今後も授業の大切さを説きながら授業に集中して取り組むとともに、他の生徒の学習を邪魔しないように引き続き指導して参ります。

また、適宜アンケートを実施しながら生徒の困りごとを把握したり、昼休憩には職員が教室棟を巡回するなど、生徒が安全に安心して過ごせるよう取り組んでおります。ご心配なことがありましたら担任や部活動の顧問等へ遠慮なくご相談ください。今後とも生徒が安心して生活できる学校づくりを目指して取り組んで参ります。

5 毎年「学力の向上」が重点目標に挙げられていますが、我が子に関する限り、どれだけ学力が向上したのだろうかと思えます。何となく授業をうけ、ほとんどテスト勉強もせずにテストを受けている雰囲気があるように感じます。進路決定だけが目標ではないと思えますし、将来就く職業に直接結びつくかどうかに関係なく、鳥工で学んでいることをしっかりと身につけてほしいです。

「学力の向上」は学校教育での重要な使命であるため、重点目標に毎年掲げております。知らないことを知ることは学びの喜びを感じる瞬間であり、さらに学びの意欲をかきたてるものです。このように学習に取り組み、着実に学力を向上させている生徒がいる一方、きちんと取り組むことができない生徒も見られ、心配するところです。

従来も学びそのもの楽しさを伝えるように努めてきましたが、入学当初や年度当初のガイダンスや平素の授業を通じて、さらに丁寧伝えていきます。

6 子供がグレたと思えます。昔は仲良く話していたのに悲しく思います。

どのような「グレ」かはわかりませんが、反抗期を迎える子もいる年頃であり、そういった状態は決して不自然なことではありません。ただし、ひどかったり学校生活に原因がありそうでしたらご連絡ください。また、そうでない場合でもご家庭と連携して生徒の健やかな成長を支援して参りますので、お気づきのこと、お悩みのことがございましたら遠慮なく学校へご連絡、ご相談ください。

7 先生方の生徒への対応が公平でなかったり感情的であったり、また学校生活に対する意識の食い違いを感じることがあります。先生方には、生徒から信頼される人格になっていただきたいです。

就職する生徒が多い専門高校として、生徒が社会で生活をする力をつけることを意識し、個々の生徒に応じた指導をするよう日頃から心がけております。そのため、指導の際にはあえて自律を促す対応を行ったり、あえて感情的に見せることで生徒に気づかせようとしたりと生徒個々の発達の状況に応じて対応していますので、時には不公平に見える場合があるかと思えます。また、生徒の価値観は多様であり、教員と意見の合う生徒もいれば食い違いを感じる生徒もいます。

教員には誤解を招かないようにどの生徒にも教員の考え方をわかりやすく示すように伝えていきますし、今後も指導して参りますので、そのような状況をご理解いただき、ご家庭におかれましてはお子様に教員を信頼して学校生活を送るようお話しください。

まずは我々職員が生徒の手本となるよう意識して取り組み、生徒、保護者の方々から信頼していただけるよう努めて参りますので、疑問に感じられた際はおたずねください。

8 就職してから役立つ授業（特に技術系）を一人一人が理解できるまで教えてください。本人も理解できず不安に思っていますし、親も教えることができません。

工業高校の生徒として専門教科の学習をしっかりと習得して卒業することを願っており、各科とも授業に加えてその補習や資格検定への補習などで学び直しの機会を設定しております。我々もどの生徒にも理解してもらえるよう、授業力のさらなる向上に努めますし、お子様にも理解できなかったところをどんどん質問するようお願いいたします。

9 子供が文書をまとめるのが苦手なので、何度もレポートの再提出になりますが、2度だめなら受け取ってくれないとやる気をなくしています。やる気があるのなら、根気よく何度目でも受け取っていただき、子供のやる気をなくさないでください。

実習等のレポートが必須となる教科においては、レポートの未提出は不認定となりますので、何度でも再提出を受け取っています。ですからお子様に教員の指示がきちんと伝わっていないことも考えられます。教員側も誤解のないよう説明することを再確認しますのでご理解をお願いします。

10 自然災害（台風・地震等）に対して、適切な対処が遅いと思います。様々な通学方法の生徒に対応できるよう、小・中学校みたいに6時半頃までには決めてほしいと思います。

昨年度の県中部地震の際にはご心配をおかけして申し訳ありませんでした。今後は避難行動等適切に行って参ります。気象災害については、年度当初にお示しした「荒天時の対応について」（HPにも掲載）に基づいて、安全を第一に授業時間等の確保にも努めているところです。登下校に際して、安全が確保できない場合は出席扱いで欠席されて良い旨もお示ししています。

なお、本校では、次のとおり対応することとしており、判断時間となる6時過ぎと9時過ぎには早急にまち comi メールでの送信、鳥工ホームページへの掲載を行っておりますのであらためてご確認ください。

1 対象となる気象警報

暴風、大雨、大雪、暴風雪、洪水警報 のいずれかが鳥取地区（鳥取市北部）に発令されている場合

2 生徒に対する措置

(1) 午前6時00分現在、警報が発令中の場合は「自宅待機」

(2) 午前6時00分から午前9時00分の間に警報が発令された場合は、次のように行動してください。

①自宅にいる場合は「自宅待機」

②登校中である場合は各自で安全性を考慮して「帰宅」あるいは「登校」

③警報を知らずに登校した場合は「教員の指示に従って行動」

(3) 午前9時00分の時点において

①警報が解除になった場合は「登校して授業」

但し、交通機関に乱れ等が発生した場合はこの限りではありません。

②午前9時00分までに警報が解除されていない場合は「臨時休校」

3 「八頭地区等に警報が発令され」「鳥取地区に警報が発令されていない」場合

八頭地区（鳥取市南部、若桜町、智頭町、八頭町）、鳥取地区（岩美町）に警報が出ている場合（上記1の内容）で、その地域に居住する生徒は措置（上記2の内容）を適用します。但し、

(3) ②は「臨時休校」を「公欠扱い」と読み替えます。

4 連絡方法について

○鳥工ホームページ (<http://www.torikyo.ed.jp/toriko-h/>)

○まち comi メール（登録者のみ）

○まち comi 鳥工ページ (<http://sc.machicom.comi.jp/totor314/>)

○電話対応（0857-51-8011） 電話は7時30分以降にお願いします。

11 もう少し部活動の強化をしてください。

各部活動内で顧問同士の連携をはかり部活動の強化と円滑な運営に努力してまいります。具体的にはより高い専門性を求める部活動は外部指導者活用の制度を活用し、外部指導者も連携を取りながら生徒が必要な技能技術を学べるように指導していきます。また、部活動を効率的に行い、交通機関を利用する生徒への配慮と安全な環境での部活動を心掛けて強化を図ります。

12 文化祭や体育祭のあり方について

はじめのある中にも、生徒が積極的に参加・楽しむことができる催し、また、来場された方も楽しむことができる催しを、生徒と一緒に検討し、改善していきたいと考えております。

13 学校の様子をホームページ等でもっと頻繁に発信してください。

昨年度にホームページの構成や更新方法を見直し、徐々にではありますが、更新回数が増えつつあります。今後はもっと多くの情報発信ができるようにしていきたいと思っております。

14 保護者への連絡文書が家庭に届かないことについて。

学校では連絡文書の大切さ、提出物の期限を守ることなどを生徒に指導しているのですが、ご家庭まで文書が届いていないこともあるようです。連絡文書を必ず入れるクリアファイルや袋などを各自用意して持ち帰るように促したいと思っております。

15 工業学科で進学を考えている生徒に対して、進学の現状を説明してください。

工業科の進学指導については、2年次の進路希望調査をもとに学年の後半に進路ロングホームルームを就職希望者とは分けて行い、学びたい学問の内容や進学手段、方法について学びます。参考となる現3年生の合格状況が確定するのが3月となりますが、なるべく早い段階の現状を生徒に伝えるようにしたいと思っております。

16 個々の生徒に対応した進路指導をしてください。

生徒の進路指導については、1年次から担任による面談や進路調査、進路ロングホームルーム等を計画的に実施し、さらに進路ガイダンスや既に進学先の決まった3年生による伝達会なども行っています。個々の生徒の進路実現に向けて一層努力し取り組みますので、ご家庭でも引き続きご指導ご協力の程よろしく申し上げます。

17 校内での盗難防止について

貴重品の管理はもちろんのこと、移動教室時の教室施錠を徹底することを指導しています。心配をおかけしますが、ご家庭でも必要以上のものを持ってこないことや保護者の方の労働の対価であるお金の大切さについてお話しいただけると幸いです。貴重品の管理については、文書を配布していますのでご確認ください。

18 あいさつや交通マナーについて

社会に出て通用する考え方や行動をとれるような指導を心がけていますが、まだまだ態度や言動が身につけていない生徒がいます。学校生活と家庭生活の両輪で連携を取りながら指導していきたいと考えておりますので引き続きご協力いただきますようお願いいたします。